

御笠地区

御笠まちづくり協議会

〒818-0004 筑紫野市吉木 2496-1 (コミュニティセンター内)

TEL 092-408-6026

コミュニティセンターTEL 092-922-2601



御笠地区では市内北東部に位置し、吉木小学校、阿志岐小学校の2つの小学校区の地域であり、約4200世帯、9700人が暮らしています。

地域の中心を宝満山が源流の宝満川が流れ、宝満山や阿志岐山城跡の2つの国指定史跡に囲まれた、自然と文化が豊かな地域で仙人たちが守り抜いた豊かなこの環境を、維持し保全に努めています。超高齢化地域であり、高齢者の生活や小学校の通学のために「御笠自治会バス」が貴重な移動手段となって活躍しています。野菜直売所「みかさの里」は農業生産者と地域住民をつなぐ大切な場所で早朝から訪れるファンもいるほどです。一方で人口増加に伴って住宅団地が開発された地域も混在しています。

地域イベント

みかさの朝市 (9月、11月、12月)

市民体育祭 (10月)

御笠地区市民文化祭 (11月)



市政50周年記念

みかさ未来フェスティバル2022



御笠まちづくり協議会 ホームページ



ホームページ開設経緯

御笠まちづくり協議会活動及び自然豊かな地域を多くの方に知ってもらう為に「会報みかさ」と合わせて2018年に「ホームページ」を立ち上げました。
掲載内容は、主に部会活動を中心に、イベントなどをお知らせしています。

運用要領としては、年4回発行の「会報みかさ」と同時期に更新しています。
各部会のイベントなど、その都度ホームページに上げています。



御笠まちづくり協議会ホームページアドレス <https://mikasa-machi-2018.jimdo.com/>

ホームページシステム（ソフトツール）：KDDI ウェブコミュニケーションズ Jimdo(ジンドウ)

部会活動：ホームページから抜粋



3.11 自然災害追悼紙灯籠



小学生芋の苗植え



川遊び



R5年イベントのお知らせ

- 9/24 新米フェアー
- 10/15 宝満山国史跡指定10周年記念講演会
- 12/24 みかさ朝市

その他多くのイベント等を企画しています。

41 柚須原公民館

〒818-0001

筑紫野市大字柚須原 152-10

世帯数 21 世帯
人口 39 人
高齢者数 19 人 (49%)



【柚須原区の概要】

柚須原区は、筑紫野市の北東部、筑紫野市役所から約 10 km、県道 65 号線米ノ山峠(標高 349m)で飯塚市と接しています。

米ノ山峠は、冷水峠が慶長年間に、黒田長政により長崎街道として整備される以前は、古くから奈良や京都と行き来する道の峠でした。

柚須原公民館は、柚須原区のほぼ中央にあり、標高 294.6m。夏は涼しく、秋は棚田に彼岸花が咲き、冬は雪景色が楽しめます。

柚須原集落は、康永(こうえい)3(1344)年に造られた「柚須原の木造聖観音坐像」(筑紫野市内最古級の木造の仏像・平成 26 年市有形文化財指定・筑紫野市歴史博物館に寄贈・収蔵)により、南北朝時代には成立していたと考えられます。

また、この観音像の修復が、江戸時代に筑前の国の多くの人々の浄財によりされた記録が観音像内より発見されたことから、柚須原は江戸時代には古くより筑前の多くの人々が知る集落であったと考えられます。

近年では、三郡山頂上の航空監視レーダーへの専用道が整備され(関係者以外通行禁止)、閉校した竜岩小学校跡地に竜岩自然の家が建設され(管理棟は柚須原区)、福岡県立総合射撃場が建設されました。有機的連携が今後の課題です。

柚須原区自治会は、平成 28(2016)年 3 月 16 日に、地方自治法第 260 条の 2 第 1 項による認可を受けた地縁による団体(法人化)となりました。これ以降、柚須原区の共有地や共有の作業道の名義は、相続時に区民複数共有名義から柚須原区自治会としていっています。

【柚須原区の就業状況と世帯の状況】

かつては、ほとんどの世帯が農林業を専業としていましたが、子息のほとんどが高校進学するようになると、後継ぎの子息たちは第 2 種兼業農家となり、後継ぎでない子息たちは柚須原区外に就職・転出しました。さらに、その後継ぎの子息のほとんどは高校・大学等卒業後に、就職や結婚により柚須原区から転出していっています。2000 年代になると、高齢者世帯の転出の一方で、柚須原の都心部に近い田舎という環境を好む人々の転入が 4 世帯(その内転出 1 世帯)あり、今日に至ります。今後の新住民の転入には、区内のほとんどがハザードマップ赤の危険地域という解決すべき課題があり、区内住民と行政とお互いに智恵を出し合っていくことが必要であり、区内住民の今後の学習課題と言えます。



	15 歳未満	15~64 歳	65~74 歳	75 歳以上	計
女性	1 人	6 人	8 人	7 人	22 人
男性	1 人	8 人	7 人	1 人	17 人

(令和 6・2024 年 1 月 1 日現在)

区世帯数 : 17 独居高齢者世帯 : 3

高齢化率 : 58.97%

・・・高齢化率 50% を超える限界集落は、一般的に、共同体の機能維持が限界にきていると言われている。



柚須原の木造
聖観音坐像

【★柚須原の伝統行事と◆中山間地を守るための共同作業】

★牛座（おざ）：2月上旬・・・五穀豊穡などを大山祇神社に祈願。新型コロナ感染症問題を機に、直会（なおらい）をとりやめる。

★お籠り（おこもり）：6月上旬と9月上旬・・・新型コロナ感染症問題により、2020年より中止中。

★およど（夏越祭）：7月19日・・・柚須原観音堂詣り。女性のみ。

7月26日・・・大山祇神社詣り。神社境内で区民参加の直会。新型コロナ感染症問題により中止していたが、2023年より復活。

★盆綱打ちと盆踊り：8月15日・・・区内で初盆の家庭がある時に、柚須原公民館で開催しています。

★お観音講：毎月17日前後に、公民館に集まり、床の間に観世音の掛軸をかけ、ロウソクをともし、線香をたく儀礼後に、婦人会の会合を行っています。

◆宝満詣り：5月3日・・・田植えの準備のため、用水路の草刈・修復、農道の草刈・整備など。

◆共同墓地の草刈・清掃及び農道の草刈：8月上旬の日曜

◆林道の草刈・落葉等清掃と用水路の清掃：11月下旬の日曜

※区民総出の葬儀から葬祭場での実施に移行・・・かつて区内住民の葬儀では、通夜式後の数珠送り、男性の竹ハン作り、女性のお斎（葬儀前のお別れ膳）作りなど区民総出により自宅で葬儀が行われていました。

※お庚申様：干支で60日に1度回ってくる日に、当番の家で酒、漬物、鶏飯で区民各戸代表が交友を深めていましたが、当番の家の負担が大きということで廃止されました。

【柚須原公民館の活動の柱と★現在の事業】

① 柚須原区の平日昼間は、サービスに行かない高齢者のみという住宅団地と同じ状況です。そこで、かつてのように区内住民が日常的に共同作業をする就業形態ではなくなったことから、まずは住民の親睦交流を図ること。

② 区内住民が年々高齢化している状況を踏まえて、体力向上・健康づくりの地域福祉活動を、柚須原公民館は、区自治会、福祉委員が連携し行うこと。

③ イザという時の防犯・防災という互助活動をより高めていくために、学習と実地訓練を、柚須原公民館は、区自治会、消防団御笠分団柚須原班と連携し行うこと。

④ イノシシや鹿等有害鳥獣と住み分けた里山として、柚須原区を持続していくために、耕作放棄地問題、山林や竹林の荒廃対策も公民館の課題です。

★2023年度は、恒例のしめ縄講習会、ほっけんぎょう、福祉サロン（福祉委員と共同）の実施とともに、新たに花いっぱい活動、ジビエを食する会を実施しました。今後とも、個々の事業の振り返りや住民の意見を尊重し、地域課題・生活課題を区民皆が共有できるように、公民館活動を実施していきます。

※公民館の維持管理は、公民館長、公民館主事が区長と共に責任を持ち、毎月の定例清掃は婦人会に委託しています。なお、公民館大掃除は婦人会だけでなく公民館長、公民館主事も参加し行っています。



福祉サロン～楽しい音楽レクリエーション

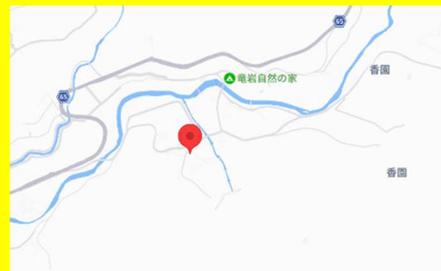


毎年恒例のしめ縄講習会

42 香園公民館

〒818-0002
筑紫野市大字香園 159

世帯数 10 世帯
人口 25 人
高齢者数 8 人 (48%)



地名の由来「香園」

昔、菅原道真公が太宰府天満宮の神領であったこの地でお香を焚かれていたことで「香園」と呼ばれていたと言い伝えられています。

しかし古文書によると、香園は太宰府天満宮の神前香料所だったことがわかりました。



公民館概要

香園公民館は僻地対策事業により昭和51年(1976年)5月21日に建設しました。

□敷地面積495㎡ □建築面積99㎡

香園地区の近隣には「竜岩自然の家」があり夏になるとにぎやかになりますが、典型的な過疎地になりますので、公民館活動もあまり行うことができませんが受け継がれた行事などを行っています。

年間行事

3月	香園総会
6月	ごみゼロ運動
6月	未御籠
10月	ごみゼロ運動



おこもり



ごみゼロ運動

43 本道寺公民館

〒818-0017

筑紫野市本道寺 92-3

世帯数 50 世帯

人口 122 人

高齢者数 57 人 (49%)

開 竈門神社



本道寺
公民館

▲ 竜岩
自然の家

ゆめ
タウン



本道寺は

筑紫野市の北東部に位置し宝満山のふもとにあります。
50世帯人口 122 人の田んぼや畑に囲まれている農村
地域です。

本来公民館が「人づくり・つながりづくり・地域づくり」
の場にならないといけませんが、本道寺地区も少子
高齢化が進み公民館活動が停滞している現状です。



年間行事

- 4月 区全体総会（予算案・年間活動報告等）
- 5月 井手上げ
- 6月 ごみゼロ運動
- 7月 農道・林道・草刈り清掃作業
- 8月 公民館清掃
- 10月 ごみゼロ運動
みかさ体育祭
- 11月 人権問題市民懇談会
- 12月 おぞ・公民館清掃・消防団夜警
- 1月 ほうげんぎょう・初寄り（新年会）
- 3月 区全体総会（会計報告・活動状況報告等）



〔毎月定例開催〕

お花教室 月 2 回

婦人会会合 月 1 回

〔随時開催〕

- ◆区；役員会・農事実行組合・役員及び組合員会議
- ◆宝満の里 役員会及び全体会議
- ◆各種研修会



44 大石公民館

〒818-0006
筑紫野市大石 714-2

世帯数 79 世帯
人口 172 人
高齢者数 75 人 (44%)



昭和56年に農業研修施設として建設され約42年を経過しています。

大石公民館の概要

昭和56年3月15日

農業研修施設として建設

木造瓦葺平屋作り 築42年

面積 敷地 729.2 m²

建坪 152.52 m²

間取り 大広間1・和室1・調理室1・物置1

男女共用トイレ1

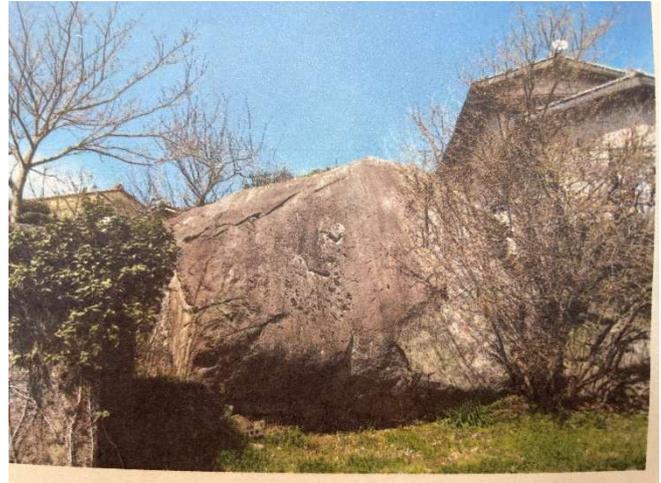
大石の地名の由来

市川正博氏宅裏に大きな石があります。

これが「大石」の地名の起り、謂われされ

通称「石の神」と言われています。

この石の麓には **文殊菩薩** が奉られています。



ほうげんぎょう開催までのようす



45 原公民館

〒818-0005
筑紫野市原 405-1

世帯数 374 世帯
人口 898 人
高齢者数 332 人(36%)



原公民館は、昭和40年代に自治会員の交流の場として建設されました。平成23年3月に老朽化により建て替え工事をおこないました。新たに「アンビシャス多世代ふれあい館（通称）」として出発しました。

現在、原区は、都坂自治会、石坂自治会、原自治会の3つの自治会で構成されていますが、原公民館は主に「原自治会」の活動の拠点として運営されており、活動としては、自治会の諸行事に加え、3B体操、ストレッチ体操、いきいきサロン等が行われています

しかしながら、自治会活動等においては、他の自治会と同様に高齢者の割合が高くなったことやコロナ禍における諸行事の活動自粛等により、これまで当たり前に行われていた行事も、縮小や減少の傾向にあります。

時代は変わっても、地域の連携・強化については、継続させるとともに発展させて、次の世代に繋いでいかななくてはなりません。



年間活動行事（主なもの）

- ・4月 定期総会
- ・7月 七瀬まつり（水難、水害回避・五穀豊穡祈願）
- ・8月 夏祭り
- ・9月 秋祭り（家内安全・五穀豊穡祈願）
敬老祝賀会（式典・祝宴）
- ・10月 市民体育祭 御笠地区大会
- ・11月 健康推進行事
人権問題啓発市民懇談会

夏祭り



敬老会



健康推進行事



グランドゴルフ



46 宮の森公民館

〒818-0005
筑紫野市原 714-19
TEL092-925-8719

世帯数 556 世帯
人口 1200 人
高齢者数 476 人 (40%)



住んでよかった 安心安全 明るく美しい町 宮の森

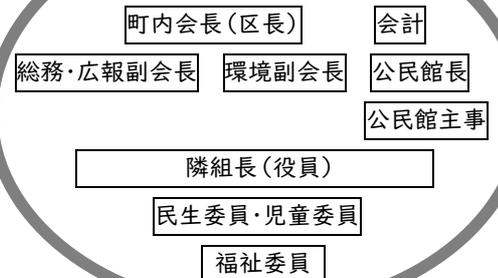
私達が暮らす宮の森は、自然・歴史・文化に恵まれた町。
太宰府天満宮の隣にあり、人口 1,200 人、約 450 世帯の住宅街です。
50 年以上の歴史があり、高齢化率も年々高くなっていますが、
最近若い世代の方も増えており、益々活気溢れています。
2021 年 4 月に公民館の建替えをおこない、
木の温もり溢れる建物は宮の森の新しい顔となりました。



宮の森町の5つの誓い

1. 私たちは、宮の森を愛し、誇れるふるさとづくりに努めます。
1. 私たちは、自らできる事は自ら行い、隣人としてお互い助け合います。
1. 私たちは、相互にみまもり、安心して安全な町内を目指します。
1. 私たちは、世代間の交流を心掛け、町内融和に努めます。
1. 私たちは、町内事業に積極的に参加し、交流の輪を広げます。

町内役員組織



年間活動内容(町内会行事含む)

5月/公民館常任運営委員会

8月/夏祭り・ステキな夏休み教室

9月/敬老祝賀会

10月/市民体育祭

12月/年末防犯パトロール



- 定期総会(毎年4月)
- 定例役員会(毎月)
- ゴミO運動・町内一斉清掃(年4回)
- 防火訓練・防災訓練(年2回)
- オッハーの日・防犯の日(毎月)
- など実施

宮の森町内会では、シニア会、子ども会育成会、他、
住民の方の福祉・教育・育児への活動の応援に取り組んでいます。

また、有志による子どもの登下校の見守り(立つぞう隊)など、
町内会の活動を通して、子どもからシニアまで多くの方とふれあう
機会を増やし、相互見守りが出来るような町内会を目指しています。



立つぞう隊の様子

公民館講座(令和5年度活動)

(毎月2回) にこにこ元気教室

講師や健康サポーターの方と一緒に元気な身体づくりに取り組んでいます。



5月 ガーデニング教室

老若男女、毎年大好評の講座です。



6月 スマホ講座・健康づくり講座

専門の講師をお招きし、みんなで学んでいます。



7月 ちぎり絵教室

先生をお招きし、季節のモチーフを作成しています。



11月 ガーデニング教室・健康づくり講座

12月 クリスマスリース作り

2月 認知症サポーター養成講座

など、親子で楽しんで参加できる講座も多数開催しています。

公民館利用団体(令和5年度現在)

男の料理

ダーツ

至道会館筑紫野支部

MFCサーキット

MFC保健気功

卓球

3B体操協会(男)

3B体操協会(女)

詩吟教室

太極拳水曜会同好会

麻雀クラブ

ハーモニー宮の森

美千書院

いきいき健康サロン

おしゃべりサロン宮の森カフェ

民生委員児童委員相談窓口など、町内の方を中心に老若男女、多くの方が利用されています。



男の料理教室



いきいき健康サロン



至道会館筑紫野支部



民生委員児童委員相談窓口

47 ゴルフ場団地公民館

〒818-0005
筑紫野市大字原
西鉄バス「宮の森バス停」周辺

世帯数 129 世帯
人口 269 人
高齢者数 112 人 (41%)



ゴルフ場団地区には公民館はありません。

お隣の宮の森公民館を使わせてもらいながら活動を行っています。

ゴルフ場団地区は名前の通り太宰府ゴルフ倶楽部の隣にあり、ゴルフ場の一部を造成して昭和 44 年に 130 区画が整備されたのが始まりです。当初は原区自治会に参加しておりましたが、少しずつ住民が増え、その後独立し自治会発足後、平成 20 年に地縁団体として認可を得て、現在に至ります。小さな地区ではありますが現在（令和 5 年度）では 256 名の区民がおり、積極的に活動を行っています。最近では防犯カメラの設置も決まり、IT 化の促進を目指しつつ住民が住みたい地区づくりを目指して頑張っています。

主な年間行事

- 4月 定期総会
- 6月 ほのぼの会
- 8月 宮の森・原自治会夏祭り
- 9月 敬老の日記念品配布
- 10月 御笠地区体育大会
- 11月 御笠地区文化際
- 11月 日帰りバス旅行
- 年5回 ごみゼロ運動

✿くらしの助け合い活動✿

「くらしの助け合い」は、高齢者・独居者の支援を目的に運営されてきました。平成 6 年から始まり、発足から今年で 30 周年になります。簡単な家事のお手伝い、病院や買い物の同行、留守宅の水やり、見守りなど日常生活での助け合いを行っています。本活動が注目され平成 22 年度には筑紫野市社会福祉協議会から表彰も受けました。現在担い手の高齢化により存続が危うい状態ですが啓蒙活動を行い今後につなげていければと考えています。

✿ほのぼの会✿

高齢者を対象にサロン活動を行っています。グランドゴルフを毎週水曜日に開催しており、7 月には親睦会、12 月にはクリスマス会、3 月にはお花見会を開催しております。



日帰り旅行



年に 1 度区民参加のバス旅行を開催しています。

コロナでここ数年間は開催されていませんが、近隣の観光、季節の味覚を楽しんだり、自然を満喫したりと毎年皆さんの要望を踏まえつつ日帰りバスツアーを開催しています。

48 みかさ台公民館

〒818-0004
筑紫野市吉木 2331-28
TEL/FAX 092-922-9435

世帯数 413 世帯
人口 896 人
高齢者数 497 人 (56%)



みかさ台の概要

昭和54年より分譲開始

総面積 127.876 m²

世帯数 365 世帯

人口 951 名

瀬戸山公園 (2.932 m²)

古墳公園 (1.075 m²)

みかさ台公民館は御笠地区の県道76号線、飯塚方面の県道65号線の交差する南側に位置する交通の利便の良い団地です。団地からは名峰”宝満山”も望まれ宝満川、原川も流れ大変環境の良い所です。状況としましては他地区と同じく高齢化が進み、筑紫野市で高齢化率が2番目に高い55%となっています。高齢化により区会役員、組長、ボランティアの活動に支障が出ており今後の対策としまして情報発信（組長会議・回覧板・緊急連絡等）は出来るだけ電子化を図る様、改善委員会、電子連絡網準備委員会を立ち上げて今後の対策を取ってまいります。

年間行事

- ・毎月 役員会・定例理事会（役員、組長、民生委員・児童委員）・防犯パトロール
- ・1月1日 国旗掲揚
- ・1月上旬 餅つき大会（どんど焼き）
- ・4月末 みかさ台区会定期総会
- ・6月中旬 公民館避難訓練
- ・6月中旬 ごみゼロ運動
- ・7月下旬 夏祭り
- ・8月上旬 瀬戸山公園・古墳公園草刈り
- ・9月中旬 敬老の日式典、祝賀会
- ・10月中旬 ごみゼロ運動
- ・10月中旬 御笠地区体育祭
- ・12月末 年末防犯パトロール（小学・中学生）



1月新年もちつき大会



5月 どんぐり広場玉ねぎ収穫



6月 ごみゼロ運動



7月 原川を守り会草刈り



8月 夏祭り



6月 防災訓練

サークル紹介 (31団体)

- ・サロンみかさ
- ・いきいき気功教室
- ・瑞会 (ダンス)
- ・生け花
- ・テーパーテニス (卓球)
- ・麻雀同好会 (男性部・女性部)
- ・みかさ亭 (ダンディーズ・レディーズ)
- ・フラワーアレンジメントミモザ
- ・元気教室
- ・うさぎ (模写サークル)
- ・登山の会・歩こう会
- ・ゴルフ同好会
- ・ダーツの会
- ・ピンポンパン (卓球)
- ・墨朋会 (書道)
- ・アサギマダラ同好会
- ・楽しいバルーンアート
- ・楽しいヨガ教室
- ・ムービークラブみかさ
- ・自主防災見守り隊
- ・どんぐり広場
- ・みかさ台文庫
- ・てまり会 (カラオケ)
- ・3B体操
- ・ふるさと創生会
- ・グランドゴルフ
- ・原川を守るみかさ台の会
- ・みかさ台シネマ
- ・人和太鼓
- ・ヘルプみかさ台
- ・みかさ台シニアクラブ

みかさ台のホームページ『みかさ台電子版』ご紹介



【みかさ台電子版】

みかさ台ホームページのフロント画面です。検索は『みかさ台広場』で御覧いただけます。

みかさ台電子版は只今、テスト発信中で加入を募っています。本格運用は6年度4月より開始いたします。登録いただくと、区会広報、緊急情報又、画面の6カ所の市報、みかさ台 YouTube チャンネル情報を得ることが出来ます (筑紫野市公式アカウントと同じ LINE 発信形式です)

【公民館主催講座】(配信例)

12/20(水) 10:00~12:00

みかさ台シネマ

「午後の遺言状」

みかさ台広場 ホームページ	市報 ちくしの	みかさ台 YouTube チャンネル
公民館に	ゴミ出し	
電話電話	カレンダー	

49 西吉木公民館

〒818-0004

筑紫野市吉木 2431-1

世帯数 297 世帯

人口 694 人

高齢者数 218 人 (31%)



筑紫野市の北側に位置する吉木地区は、太宰府市と隣接し、昭和40年から50年にかけて近隣に数箇所の大規模な宅地開発が実施されました。また最近も宅地開発が行われ、現在の世帯数の195世帯から、今年も数十世帯増える予想になっています。このような状況において、安全安心で暮らしやすいまちを維持していくには、「地域の特性を活かしたまちづくり」や「地域を知り、地域に愛着を持つ市民によるまちづくり」がさらに必要となっています。

区においては、少子高齢化、情報化等の進展に伴い、区民のライフスタイルが大きく変化すると同時に、地域の希薄化により、地域での組織づくりが複雑化する一方です。2023年3月19日に西吉木公民館が、新しくなり市長を迎えて竣工式を執り行いました。今後も区民と地域のつながりをより一層強めていきたいと思っております。



50 東吉木公民館

〒818-0004

筑紫野市吉木 1005-5

世帯数 662 世帯

人口 1550 人

高齢者数 470 名 (30%)



昭和 58 年ごろ葉光ヶ丘団地が造成され行政区全体は東吉木区でございしますが、区内において葉光ヶ丘自治会として自治会公民館として、一部を除いて別々の活動となっている。

・人口 1562 人 (葉光ヶ丘 921 人)

・世帯数 659 世帯

(東吉木 220 世帯・葉光ヶ丘団地 318 世帯)

・附属設備 炊事場・大研修室 1・小研修室 2(畳部屋 1)
大研修室 洋間 間仕切りにより分離 1)



高良神社

大和朝廷時代西暦 333 年年頃に創建された記録があり今日まで吉木区(東・西)の宮総代をはじめ、両区の役員が連綿と守り継がれ、私たちの住む地域で歴史的価値の高い文化財のひとつでもあります。年間行事は、両区の事業として下記のとおり行っています。

吉木全体の神社で、東・西吉木地区合同で催行していません。



東吉木ふるさとまもり隊



夏祭り



子ども育成会活動



敬老会



51 上阿志岐東公民館

〒818-0011

筑紫野市阿志岐 228

世帯数 53 世帯
人口 121 人
高齢者数 49 人 (41%)



【公民館紹介】

上阿志岐東公民館は平成 28 年 12 月に建て替えを行いました 行政区は 3 隣組で構成され世帯数 38 世帯、人口は 119 人(男性 55 人、女性 64 人)です

【老松神社】

公民館と同じ敷地にあり、年 4 回の祭典(夏祭り、敬老会、神座、正月祭)を宮司さん、区の皆さんと行っています

【公民館活動】

- 4 月 総会
- 6 月 ごみゼロ
- 7 月 夏まつり
- 9 月 敬老祝賀会
- 10 月 ごみゼロ
神座
- 12 月 人権問題市民懇談会
忘年会
- 3 月 花見
年 6 回程 老松サロン

【ごみゼロ運動】



【夏まつり】



公民館活動はコロナ禍の影響で令和 3 年度から 5 年度はほとんどの行事が中止となりました。

52 上阿志岐西公民館

〒818-0011
筑紫野市阿志岐 2468-2
TEL 092-925-6531

世帯数 557 世帯
人口 1300 人
高齢者数 434 人 (33%)



公民館内の世帯構成 (令和4年)		
①筑紫野団地	192 世帯	(566 人)
②朝香団地	114 世帯	(298 人)
③柚木・六本松・市営住宅	111 世帯	(304 人)
計	417 世帯	(1168 人)
80歳以上 約 160 名 (14%弱)		

公民館活動はコロナ禍の影響で令和2年度から令和4年度のほとんどの行事が中止となりました。

今年度から行事が実施可能になりましたので、随時更新可能です。

下の写真は6月に行われた清掃活動の様子です(参加者50人程)と令和元年に行われた夏祭りの様子です

令和5年 春期清掃活動
(ごみ0運動)



令和5年度の行事

- ・ 4月 役員総会
- ・ 6月 春期ゴミ0運動
- ・ 7月 夏祭り
- ・ 9月 公民館避難訓練
- ・ 9月 敬老祝賀会
- ・ 9月 認知症支援訓練
- ・ 10月 御笠地区体育祭
- ・ 10月 秋期ゴミ0運動
- ・ 10月 防災訓練
- ・ 11月 御笠地区文化祭
- ・ 11月 人権問題市民懇談会
- ・ 3月 公民館避難訓練

令和元年 夏祭り



53 中阿志岐公民館

〒818-0011
筑紫野市阿志岐 835-4

世帯数 74 世帯
人口 176 人
高齢者数 65 人 (36%)



中阿志岐は過去「宮崎」という地名で親しまれてきました。地区内にある寺院「円徳寺」の住職の氏名からついたものだと言われています。

また荒船神社は899年に志賀島の志賀海（しかうみ）神社の分霊を移し祭られたということで、海との深い関りが感じられます。

さらに1300年前の古代山城が地域東側の宮地岳中腹に見つかり、国指定史跡となるなど、深く歴史的な関りをもった地域です。地域には土砂災害指定区域が大きくニカ所あり、公民館も避難場所には出来ない状態です。ここ数年、公民館を定期的に利用するグループ活動も無くなり、自治会や農事組合などの会議や各種団体等による利用となっています。



地域行事紹介



敬老会
子どもたちと感謝と交流



夏祭り



草刈り・地域施設清掃



グランドゴルフ



お花見



区自治会総会



荒船神社 おこもり



上阿志岐東の合同子ども会交流会

54 下阿志岐公民館

〒818-0011

筑紫野市阿志岐 1512-3

世帯数 205 世帯

人口 478 人

高齢者数 144 人(30%)



下阿志岐区の最西端の隣組は太宰府市高雄地区を經由し、その間には県道筑紫野古賀線や宝満川並びに広大な農地が広がります。公民館は東部の端に位置するため西部地区からは車両による来館を要する位置にあります。

「宝満川を守る下阿志岐会」を結成し、中学生も交えて草刈り・ごみ拾いを定期的に行っています。下阿志岐区の活動が認められ、令和4年には「筑紫地区安全安心まちづくり推進協議会」から表彰されました。

少子高齢化が進む状況において、安全で安心な地域を守ることは重要であり、公民館活動においても館内だけでなく館外活動にも積極的に地域福祉向上を目指し取り組んでいます。

年間行事



下阿志岐区総会



評議員会・隣組会議



防災訓練



清掃活動



夏祭り



ソーメン流し



子ども相撲



井堰開放時の魚とり大会



登下校見守り隊



シニア環境活動



もちつき



自彊術は毎週開催



夕焼け座による合唱



社会福祉協議会による軽運動



石碑の拓本講習会



老松神社



初詣・春夏秋冬期に神事



防錆剤塗装活動



清掃活動

55 天山公民館

〒818-0012

筑紫野市天山 560-5

世帯数 314 世帯

人口 605 人

高齢者数 263 人 (43%)



県道 112 号（朝倉街道～甘木線）西鉄天山バス停から北へ 100m 程に位置しています。北を見上げれば、宝満山があり近くには宝満川が流れ風光明媚な地域である。筑前町と接しており、県道 112 号は、片側 1 車線で朝晩の交通量が多い。天山校区の世帯数は 316、人口は 607 人 内男性 299 人、女性 308 人となっている。（令和 5 年 1 2 月末現在）自治会バスの発着場にもなっており子供達の通学や近所の人達の買い物等に利用されている

【公民館活動】

< 構成 >

区長、副区長、公民館長、公民館主事、会計、夏祭り委員会、環境委員会、体育委員会、福祉委員会、防犯委員会、シニアクラブ、子供育成会、中学校地区委員、天山消防班、代表委員、隣組組長、副隣組組長

< 活動内容 >

毎月 1 回の公民館役員会・定例会にて地域住民の方々と情報交換を実施し 各世代との融和を図っている。具体的な主な活動として地域の安全を守る安全パトロール、環境を守るゴミゼロ運動 6 月、10 月に実施、地域の健康増進として福祉委員会で、元気教室、歌声サロン、9 月には、敬老祝賀会を実施しお年寄りの元気をお助けしている。地域との運動を通じて仲間意識を高める体育祭、地域全員で楽しめる夏祭りも実施している。又、子供会とシニアクラブとの交流を図る為、夏休みを利用し朝からラジオ体操を実施している。その後、公民館の廻りの草取り作業を行い子供達に地域の環境にも関心を持たせる教育の一助になっている。



元気体操



社会奉仕活動



子ども会草取り



夏休みラジオ体操



子ども会とシニアクラブ



56 牛島公民館

〒818-0014

筑紫野市牛島 330-70

世帯数 498 世帯
人口 1165 人
高齢者数 363 人 (31%)



初めに牛島公民館は市民生活の向上や地域の住民の交流と活性化に寄与する地域の総合拠点施設であり、様々なアクターの人材を公民館活動に巻き込むこと、様々な機関とのネットワーク構築が求められること、AIの進化に乗り遅れることなく、時代の流れに取り残されないよう、またこれまでのターゲットから外れていた若年層が

主役として活動できる機会を提供（当事者意識を持った参画）し、公民館活動を通してコミュニケーションの場を作り、区民の皆様にあふれる場となる活動を進めてまいります。

自然と調和のとれた町づくり。

平成 26 年 2 月公民館新設

敷地面積 917.25 m²

建築面積 265.6 m²

春 桜



夏 蓮の花



冬 カモの到来



公民館活動

卓球・元気教室・食事会・女性部・趣味の会・ダーツ・ワンコイン会

麻雀クラブ・ちぎり絵・民舞・さわやかクラブ・コーラス・筑紫高校ダンス部・子ども会・

そろばん教室・3B体操・ヨガ教室などたくさんの団体が利用されています。



麻雀クラブ



ダーツ



卓球



三味線



さわやかクラブ



ピラティス (ヨガ)



防災教育



もちつき